

第7次沼津市高齢者保健福祉計画(案)に関する意見募集の結果について(意見の内容と市の考え方)

No.	意見の内容	修正	意見に対する考え方
1	<p>地域包括ケアシステム成否の鍵は、「互助」に位置付けられた「ボランティア」というインフォーマルサービスが重要な役目を担うことになると思います。</p> <p>計画案の地域包括ケアシステムの記載にはボランティアに関する記述が見当たりません。日本では、災害時ボランティアは普遍化していますが、これからは平時のボランティア養成が重要であること、またそのための呼び水として、例えば、ボランティア・ポイント制の導入など、計画策定の中で検討されたいかがでしょうか。</p>	無	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域での支え合いが必要であり、地域での連携、協働による高齢者を支える仕組みづくりにボランティアの方々の協力は不可欠であると認識しております。</p> <p>沼津市高齢者保健福祉計画概要(案)22ページの地域包括支援センター事業実施スケジュールの中での生活支援コーディネーターの配置等を通じて、ボランティアなどの生活支援の担い手の養成、サービスの開発、関係者のネットワーク化、サービスを受ける側と提供する側との調整等を行い、高齢者の住み慣れた地域での生活支援サービスの整備に向けた取組を進めていきます。</p>